学校番号	116

令和２年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	第１学年	FLEX English Communication　Ⅰ Workbook ほか

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰの授業は、「話すこと」「書くこと」「聞くこと」「読むこと」という４技能の総合的な力をつける授業です。さまざまな言語材料・言語活動を最大限に活用し、英語の運用能力を高めましょう。

・教材で扱われているテーマに対する関心を高め、その背景や文化的意味について学びながら、自分自身の考えも深めていきましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（３単位）及び「英語表現Ⅰ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・間違うことを恐れず、積極的に情報や考えなどについて話すことができる。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の考えを簡潔に話すことができ、その理由も表現できる。	ｺﾐｭ英Ⅰ ・ﾍﾟｱﾜｰｸ 英語表現Ⅰ ・ｽﾋﾟｰﾁ ・ﾍﾟｱﾜｰｸ 等言語活動観察	・間違うことを恐れず、積極的に情報や考えなどについて書くことができる。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の考えを簡潔に書くことができ、その理由も表現できる。	ｺﾐｭ英Ⅰ ・定期考査 ・ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾃｽﾄ 英語表現Ⅰ ・定期考査 ・ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾃｽﾄ	・授業で先生の指示を理解することができる。 ・日常生活の身近な話題に関する簡単な英文を聞いておおよそ理解することができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。	ｺﾐｭ英Ⅰ ・定期考査 ・ﾘｽﾆﾝｸﾞﾃｽﾄ	・教科書の文を意味のまとまりに注意して読むことができる。 ・教科書の文の単語の発音、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴に注意しながら音読することができる。 ・段落におけるトピックセンテンスの働きについての知識を身につけている。	ｺﾐｭ英Ⅰ ・定期考査

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (6時間)	・「くまモン」とは，どんなキャラクターなのか ・くまモンが日本だけでなく，世界でも人気である背景 ・くまモンが世間で成功した理由	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・くまモンについて学習したこと、知っていることを、積極的に話す。	・各セクションについて学習したこと、知っていることをペアで伝え合う。 ・積極的に声を出して音読する。	・積極的にペアワークを行っている。 ・積極的に声を出して音読している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・個々の音読の様子を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・くまモンについて知り得た情報を英語で書いたり、話したりする。	・本文の内容についてペアで英問英答をしたり、話し合ったりする。 ・本文中の語、熟語を使って英文を書く。	・ペアで英問英答をしたり、話し合ったりしている。 ・本文中の語、熟語を使って英文を書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを使い、取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・くまモンが日本だけでなく、世界中で注目を浴びていることについて、読んだり聞いたりしたことを理解する。	・パートごとに英問英答や TF 問題を用いて、本文の概要を正しく理解する。	・くまモンが日本だけでなく、世界中で注目を浴びていることについて、読んだり聞いたりしたことが理解できる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・受け身、to 不定詞、動名詞について、それぞれの意味や働き、形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・受け身、to 不定詞、動名詞について、それぞれの意味や働き、形を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、判断する。
Lesson 2 (6時間)	・試合や競技で勝つためには，脳が密接に関わっている ・“in the zone” とは，どういったことなのか ・なでしこジャパンを例に，チームとして良いプレーを出すための方法 ・大きな目標を遂げるためには，脳をどのように働かせるかとその工夫	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・脳の働きについて学習したこと、知っていることを、積極的に話す。	・各セクションについて学習したこと、知っていることをペアで伝え合う。 ・積極的に声を出して音読する。	・積極的にペアワークを行っている。 ・積極的に声を出して音読している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・個々の音読の様子を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・脳の働きについて知り得た情報を英語で書いたり、話したりする。	・本文の内容についてペアで英問英答をしたり、話し合ったりする。 ・本文中の語、熟語を使って英文を書く。	・ペアで英問英答をしたり、話し合ったりしている。 ・本文中の語、熟語を使って英文を書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを使い、取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・脳とスポーツの密接な関係について、読んだり聞いたりしたことを理解する。	・パートごとに英問英答や TF 問題を用いて、本文の概要を正しく理解する。	・脳とスポーツの密接な関係について、読んだり聞いたりしたことが理解できる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・進行形、間接疑問、分詞（前置修飾）について、それぞれの意味や働き、形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・進行形、間接疑問、分詞（前置修飾）について、それぞれの意味や働き、形を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (6時間)	・環境にやさしいエネルギーに関する問題点 ・SSPS 計画とは，どのような計画か ・その計画にはなぜ資金が莫大にかかるのか ・なぜ日本は石炭や石油の主な輸入国となっているのか	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・エネルギー問題について学習したこと、知っていることを、積極的に話す。	・各セクションについて学習したこと、知っていることをペアで伝え合う。 ・積極的に声を出して音読する。	・積極的にペアワークを行っている。 ・積極的に声を出して音読している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・個々の音読の様子を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・エネルギー問題について知り得た情報を英語で書いたり、話したりする。	・本文の内容についてペアで英問英答をしたり、話し合ったりする。 ・本文中の語、熟語を使って英文を書く。	・ペアで英問英答をしたり、話し合ったりしている。 ・本文中の語、熟語を使って英文を書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを使い、取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・宇宙エネルギーを利用して地球を守るという内容を掴む。	・パートごとに英問英答や TF 問題を用いて、本文の概要を正しく理解する。	・宇宙エネルギーを利用して地球を守るという内容を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・助動詞、名詞＋分詞句、現在完了について、それぞれの意味や働き、形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・助動詞、名詞＋分詞句、現在完了について、それぞれの意味や働き、形を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、判断する。
Lesson 4 (6時間)	・マララがどのような環境下で生まれ育ったか ・マララが 10 歳のときに故郷で起きた出来事について ・思いを伝えるためにとったマララの行動 ・教育を受けたいという，マララの願い	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・マララについて学習したこと、知っていることを、積極的に話す。	・各セクションについて学習したこと、知っていることをペアで伝え合う。 ・積極的に声を出して音読する。	・積極的にペアワークを行っている。 ・積極的に声を出して音読している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・個々の音読の様子を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・マララについて知り得た情報を英語で書いたり、話したりする。	・本文の内容についてペアで英問英答をしたり、話し合ったりする。 ・本文中の語、熟語を使って英文を書く。	・ペアで英問英答をしたり、話し合ったりしている。 ・本文中の語、熟語を使って英文を書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを使い、取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・マララの活動の内容を理解し、マララの思いを読んだり聞いたりして理解することができる。	・パートごとに英問英答や TF 問題を用いて、本文の概要を正しく理解する。	・マララの活動の内容を理解し、マララの思いを読んだり聞いたりして理解できる。	・定期テストの筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞（主格、目的格）、過去完了形について、それぞれの意味や働き、形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・関係代名詞（主格、目的格）、過去完了形について、それぞれの意味や働き、形を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (7時間)	・富士山の特徴や日本文化としての富士山の存在 ・富士山へ登るのは，どのような歴史的な背景があったか ・富士山がどんなものに影響を与えたか ・浮世絵師の作品はどのような部分に影響があったか	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・富士山について学習したこと、知っていることを、積極的に話す。	・各セクションについて学習したこと、知っていることをペアで伝え合う。 ・積極的に声を出して音読する。	・積極的にペアワークを行っている。 ・積極的に声を出して音読している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・個々の音読の様子を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・富士山について知り得た情報をまとめ、英語で話したり要約文を作成したりする。	・本文の内容についてまとめ、ペアで話し合う。 ・本文中の表現を使って要約文を書く。	・本文の内容についてまとめ、ペアで話し合っている。 ・本文中の表現を使って要約文を書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを使い、取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・富士山の文化的な価値について、読み取り、理解する。	・パートごとに英問英答や TF 問題を用いて、本文の概要を正しく理解する。	・富士山の文化的な価値について、読み取り、理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・同格 that、原形不定詞、形式主語 it について、それぞれの意味や働き、形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・同格 that、原形不定詞、形式主語 it について、それぞれの意味や働き、形を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、判断する。
Lesson 6 (7時間)	・ドナルド・キーンとはどのような人物か，また彼は日本文学を世界にどのように広めたか ・ドナルド・キーンがどのようなきっかけで日本文学と出会ったか ・ドナルド・キーンが日本の人々に同情したのは，どのような出来事があったのか ・ドナルド・キーンに対し，日本はどのようなことをしたのか	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ドナルド・キーンについて学習したこと、知っていることを、積極的に話す。	・各セクションについて学習したこと、知っていることをペアで伝え合う。 ・積極的に声を出して音読する。	・積極的にペアワークを行っている。 ・積極的に声を出して音読している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・個々の音読の様子を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・ドナルド・キーンについて知り得た情報をまとめ、英語で話したり要約文を作成したりする。	・本文の内容についてまとめ、ペアで話し合う。 ・本文中の表現を使って要約文を書く。	・本文の内容についてまとめ、ペアで話し合っている。 ・本文中の表現を使って要約文を書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを使い、取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ドナルド・キーンと日本文学の出会いについて、読み取り、理解する。	・パートごとに英問英答や TF 問題を用いて、本文の概要を正しく理解する。	・ドナルド・キーンと日本文学の出会いについて、読み取り、理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係副詞、関係代名詞の非制限用法について、それぞれの意味や働き、形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・関係副詞、関係代名詞の非制限用法について、それぞれの意味や働き、形を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (7時間)	・ 仮想水 とは何か ・日本はなぜ仮想水を多く使用しているのか ・日本がさまざまな国から食べ物を輸入している原因 ・どれくらいの量の輸入食品を浪費しているか	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・仮想水について学習したこと、知っていることを、積極的に話す。	・各セクションについて学習したこと、知っていることをペアで伝え合う。 ・積極的に声を出して音読する。	・積極的にペアワークを行っている。 ・積極的に声を出して音読している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・個々の音読の様子を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・仮想水について知り得た情報をまとめ、英語で話したり要約文を作成したりする。	・本文の内容についてまとめ、ペアで話し合う。 ・本文中の表現を使って要約文を書く。	・本文の内容についてまとめ、ペアで話し合っている。 ・本文中の表現を使って要約文を書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを使い、取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・仮想水の概念について、読み取り、理解する。	・パートごとに英問英答や TF 問題を用いて、本文の概要を正しく理解する。	・仮想水の概念について、読み取り、理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞の非制限用法、前置詞＋関係代名詞、関係副詞について、それぞれの意味や働き、形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・関係代名詞の非制限用法、前置詞＋関係代名詞、関係副詞について、それぞれの意味や働き、形を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、判断する。
Lesson 8 (7時間)	・山海教授が開発したHALと呼ばれるロボットについて ・日本の出生率が低下することで，どのような問題が起こりうるか ・山海教授がロボットに興味を持ったきっかけと，HALを作るまでの過程 ・山海教授がロボットの研究に勤しむ上で，持ち続けている信念について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・山海教授とロボットについて学習したこと、知っていることを、積極的に話す。	・各セクションについて学習したこと、知っていることをペアで伝え合う。 ・積極的に声を出して音読する。	・積極的にペアワークを行っている。 ・積極的に声を出して音読している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・個々の音読の様子を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・山海教授とロボットについて知り得た情報をまとめ、英語で話したり要約文を作成したりする。	・本文の内容についてまとめ、発表したり、ペアで話し合ったりする。 ・本文中の表現を使って要約文を書く。	・本文の内容についてまとめ、ペアで話し合っている。 ・本文中の表現を使って要約文を書くことができる。 ・スピーキングテストに積極的に取り組む。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを使い、取り組み状況の判断材料として活用する。 ・スピーキングテストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		・山海教授が開発した HAL にまつわる内容を理解する。	・パートごとに英問英答や TF 問題を用いて、本文の概要を正しく理解する。	・山海教授が開発した HAL にまつわる内容を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・仮定法過去、関係副詞の非制限用法、仮定法過去完了について、それぞれの意味や働き、形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・仮定法過去、関係副詞の非制限用法、仮定法過去完了について、それぞれの意味や働き、形を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (7時間)	・「バイオミミクリー」とは何か ・ハスの葉をヒントにできたものは何か ・蚊の血を吸う行動から，どのような物が開発されたか ・バイオミミクリーは私たちのどのような問題を解決してくれるか	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・バイオミミクリーについて学習したこと、知っていることを、積極的に話す。	・各セクションについて学習したこと、知っていることをペアで伝え合う。 ・積極的に声を出して音読する。	・積極的にペアワークを行っている。 ・積極的に声を出して音読している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・個々の音読の様子を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・バイオミミクリーについて知り得た情報をまとめ、英語で話したり要約文を作成したりする。	・本文の内容についてまとめ、ペアで話し合う。 ・本文中の表現を使って要約文を書く。	・本文の内容についてまとめ、ペアで話し合っている。 ・本文中の表現を使って要約文を書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを使い、取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・バイオミミクリーについて述べられた内容を正確に理解する。	・パートごとに英問英答やTF問題を用いて、本文の概要を正しく理解する。	・バイオミミクリーについて述べられた内容を正確に理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・SVOC（分詞）、if節のない仮定法、分詞構文について、それぞれの意味や働き、形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・SVOC（分詞）、if節のない仮定法、分詞構文について、それぞれの意味や働き、形を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、判断する。
Lesson 10 (7時間)	・ダライ・ラマ14世は世界でどのように知られているか ・ダライ・ラマ14世はどのような経緯をもって，何を受賞したのか ・個人的な，あるいは政治的な問題に対して，ダライ・ラマ14世はどのようなことが大切と説いているのか ・平和を築いていくためには何が大切か	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ダライ・ラマについて学習したこと、知っていることを、積極的に話す。	・各セクションについて学習したこと、知っていることをペアで伝え合う。 ・積極的に声を出して音読する。	・積極的にペアワークを行っている。 ・積極的に声を出して音読している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・個々の音読の様子を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・ダライ・ラマについて知り得た情報をまとめ、英語で話したり要約文を作成したりする。	・本文の内容についてまとめ、個人で発表したり、ペアで話し合ったりする。 ・本文中の表現を使って要約文を書く。	・本文の内容についてまとめ、ペアで話し合っている。 ・本文中の表現を使って要約文を書くことができる。 ・スピーキングテストに積極的に参加する。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを使い、取り組み状況の判断材料として活用する。 ・スピーキングテストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		・ダライ・ラマの考えや行動について述べられた内容を正確に理解する。	・パートごとに英問英答やTF問題を用いて、本文の概要を正しく理解する。	・ダライ・ラマの考えや行動について述べられた内容を正確に理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・部分否定、複合関係代名詞、分詞構文の受け身について、それぞれの意味や働き、形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・部分否定、複合関係代名詞、分詞構文の受け身について、それぞれの意味や働き、形を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、判断する。